

Chapter 10

アパート選びと生活

10.1. はじめに

筑波大学における居住形態の(おそらく)最大勢力^{*1}が、アパート暮らしです。「陸の孤島」とも揶揄される筑波大学にやってきた多くの新入生は、必要性ゆえに学生宿舎かアパートに入居することになります。

これをお読みのほとんどの皆さんは、既に学生宿舎かアパートか宅通かを決めていると思いますので、ここからは様々な理由で宿舎/宅通^{*2}からアパートに移る人に向けての解説となります。今は頭の片隅に置いておいていただいて、春学期終わりにくらくに、「アパートに移ろうかな?」と思ったときに思い出していただければ幸いです。

10.2. アパート暮らし、メリットとデメリット

それではまず、アパート暮らしのメリットを見ていきましょう。メリットは以下のような感じです。

1. 部屋が広い!
2. 綺麗^{*3}!
3. 自分専用のキッチン・洗濯機・トイレがある!
4. 壁が厚い^{*4}!
5. お店や友達の家に行くのに便利^{*5}!

1つ目は言わずもがな、地味に大切なのが3個目~5個目です。これは宿舎からアパートに引っ越した人や宿舎に今も住んでいる人から聞いたことなので、たぶん間違いありません。

また、これは宅通と比べても言えることですが、全般に「自由!」という感じ^{*6}がします。一方で、自由が大きいということは、責任^{*7}やらかかるお金やらが多くなってしまうということも意味します。そういった背景があるのでデメリットは以下ようになります。

1. 家賃が高い
2. ライフライン(ガス・水道・電気)代^{*8}がかかる

1 入学当初こそ安さ重視の宿舎勢力や自宅からの通学勢力が多いですが、時間が経つにつれて少なくない人々がアパート暮らしへ移行します

2 自宅からの直接通学のことをこう呼び、別表記では多苦痛と書いたりします

3 多くの場合...ね

4 多くの場合2

5 立地によりますが、生物学類生が配属される学生宿舎はガチの孤島なのでほとんどの場合がこれに当てはまります

6 特に、自分の家に他人を呼び放題というのはとても大きいです

7 間違っても警察のお世話になったりはしないように...

8 学生宿舎はガスと水道は完全無料、電気代もどれだけ使ってもひと月300円程度と超格安です

3. シーツ交換のようなものはない

特に大きいのが、1つ目の家賃の問題です。みなさんが入居するであろう学生宿舍の一般単身改修棟の家賃が月額 19,410 円であるのに対して、筑波大学周辺の家賃の平均相場は 4.5 万円程度ですから、**2 倍強**ということになります。更に、宿舍では負担する必要が無かった電気・ガス・水道代を払う必要もあり、特にガス代が高騰している昨今ですから、家賃と合計すると 6 万円前後 / 月になってもおかしくありません⁹。

しかし、これでも東京で一人暮らしをすることを考えれば、段違いに良い環境と安いコストで生活することができます。また先程の家賃もかなり差がありますので、もっと安く抑えることは難しくありません。

結局のところ、**負担するコストと得られるメリットを天秤**にかけ、みなさん自身がこれだ！と思う選択をしていただければ良いかなあと思う次第です。

10.3. 筑波大学周辺の地理と特徴

さてここからは、そんな筑波大学周辺のアパート事情について、エリア別にざっくりと紹介していきましょう。

10.3.1. 天久保 3 丁目

筑波大学至近の、「華のあまさん」。大学会館を挟んで東の「表天三」と西の「裏天三」に分けられます。特に表天三は、生物学類生の通う第二エリアにも近く、コンビニや飲食店もほどほどにあり、きれいな新築物件も多い**最人気**のエリアです。生物学類生も多く住んでおり、筆者の友達もここに住んでいる人が多いです。一方、家賃の相場はやや高めな印象。

10.3.2. 天久保 4 丁目

天久保三丁目とは東大通りを挟んで東側に位置するエリア。大学からは少し遠ざかる一方、スーパーやドラッグストア、コンビニが近く、**家賃の相場も天三よりは安め**。範囲が狭く、特筆すべきことがあまりないエリアでもあります。筆者はここに住んでいます。

10.3.3. 天久保 2 丁目

天久保三丁目から大学を挟んで南に位置するエリア。家賃相場は天三に比べると安め。飲食店が多い地域で、**落ち着いたエリアではありません**が、別に女の子が一人暮らしをしても問題ないくらいなので不安がることは無い¹⁰(はず)。

10.3.4. 桜

生物学類生のアパ暮らし勢は、ほとんどが先の天久保エリアかここ桜エリアに住んでいます。スーパー・ドラッグストア・百均がエリア内にあり、美味しい飲食店が多いエリアです。天久保エリアと違って一戸建ても多く、全体として**落ち着いた印象**。家賃の相場はそこそこ。

9 電気をよく食うデスクトップ PC を使う、洗い物に必ずお湯を使う、湯船にしっかりお湯を張って風呂に入る、と言ったことをすると …。

10 自明に深夜の治安は悪いです

10.3.5. 春日

あまり多くはいませんが、一部の人はここに住んでいます。筆者の手元にあまり情報がなく^{*11}、書くことがない。

10.3.6. 学園の森

近年開発が進み、町全体が新しめで綺麗、つくば警察署もあり治安はかなりいい^{*12}。24時間営業のディスカウントストアのトライアル、コストコやカスミに業務スーパーなどのスーパーに加え、ドラッグストアのウェルシア、ホームセンターのコーナンが立地し買い物に困ることは絶対はない。休日には、関東最大級のショッピングセンターであるイーアスつくばや、大型本屋のコーチャンフォーつくばに散歩で行くのもいい。家賃が少し^{*13}高いこと、大学から遠いことが欠点。大学から離れているため自動車通学も可能である。多分誰も住まない。

10.4. 2年生の具体例

それぞれのエリアでのアパート事情についてざっくり紹介してきましたが、まだあまり具体的なイメージが湧いていないのではないのでしょうか？そこで、ここからはアパート暮らしを営む生物学類生の実例を紹介していきたいと思います。

10.4.1. Aさん

住んでいるところ：天久保4丁目

家賃：4.2万円

間取り：ワンルーム8帖

その他：水道代定額：3000円/月

選んだ基準：自炊の頻度が高いので、二口のコンロがあること、キッチンが十分広いこと、スーパーが近いことなどを基準にしました。また、耐震性能の観点から築25年以内という条件もつけました。

11 天久保2丁目から見て大学を挟んで西側の春日4丁目には、編集者の友人が多数住んでいます。それより南の春日3丁目や2丁目に住んでいるのは筑波大学キャンパスの飛地である春日エリアに通う学生が多いです。

12 学園の森は土地が高いため、相応のお金を持った家族連れなどが中心に住んでいるのも大きい

13 not 少し、普通に大学周辺とは比べられない

10.4.2. Bさん

住んでいるところ：学園の森

家賃：12+1(管理費) 万円

間取り：1LDK12+6.5 帖、バス・トイレ別、WIC 付、駐車場契約済

その他：光熱費定額：16000 円 / 月

選んだ基準：親の希望は新築でオートロック付きの物件、自分の希望は遮音性と浴室乾燥でした。車を入手する算段があったので車通学の条件にも注意^{*14}しました。

10.4.3. Cさん

住んでいるところ：裏天二^{*15}

家賃：3.2 万円

間取り：1LDK7 帖

選んだ基準：可能な限り安くて広い所を探した、しかし色々な意味でミスったと思っている。裏天二は不便なのでやめといたほうが良い。桜及び天四は例外として、基本的には東大通りの西側に住むべき。

10.5. おわりに

いかがでしたか？一口にアパートと言っても、人によって様々だということが分かっていただけたかと思います。この自由度の高さも、アパート暮らしの良いところです。

それゆえ、物件を探すときに悩むことも多いかとは思いますが、わからないことは先輩やアパ勢の友達にどしどし訊きましょう。我々も一年やそこらしか住んでいませんが、それでもアドバイスできることはあると自負しています。

長くなりましたが、読んでいただいたあなたがアパートに住む住まないに関係なく楽しい大学生活を送れるよう祈って、筆を置かせていただきます。読んでいただきありがとうございます！

《文責：前田 創》

¹⁴ 筑波大学では大学から 2km 以上離れた場所からの通学のみ、車での通学が認められています

¹⁵ 天久保 2 丁目の東大通りを挟んで東側